

## 〔国際会議開催〕

申請者	東京農工大学 教授 清水 昭伸	2165009
国際会議名称	International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2017	
開催期間	2017 年 1 月 19 日～1 月 20 日	
開催場所	那覇市ぶんかテンプス館(沖縄県那覇市)	
申請者の役割	General Chair	

## 概 要：

最近の医療の現場には大量の画像情報（ビッグデータ）があふれているが、これらの情報は必ずしも正しく理解され、有効に活用されていない。その結果、誤診や手術ミスなどの医療事故につながることもある。そこで、医療ビッグデータから最新の人工知能などの情報処理技術を用いて重要な情報を自動で認識し、それらを診断や手術に利活用することにより、医療の質の飛躍的向上や、医療現場における人間と機械との調和の促進が期待される。

本国際会議は、上記の背景のもとで、アジアにおける医用画像工学の研究の発展にフォーカスを当てた会議である。2007 年より 2 年ごとに開催され、今回でちょうど 10 年の節目の年を迎えた。主要な研究トピックには、コンピュータによる CT などの医用画像の生成や理解、および、それらの結果を利用した診断支援や手術支援などであり、高度で安全・安心な医療の実現を目指している。

参加者数は、過去最高の 200 名弱であった。会議では、104 演題の一般講演に加え、8 演題の招待講演、3 演題の Plenary Talk、合計 115 演題の講演を実施した。一般講演は、特に選抜された 26 演題が口頭により発表され、発表後には活発な質疑応答が行われていた。また、残りはポスターによる発表が実施されたが、1 分間の口頭による発表（ポスターティーザー）の後、ポスターの前で熱心に討論が行われていた。

以上のように、当会議は、量と質の両面から IFMIA 史上最高の国際会議であった。この成功によって、アジアにおける医用画像工学の研究がより一層発展することを期待している。